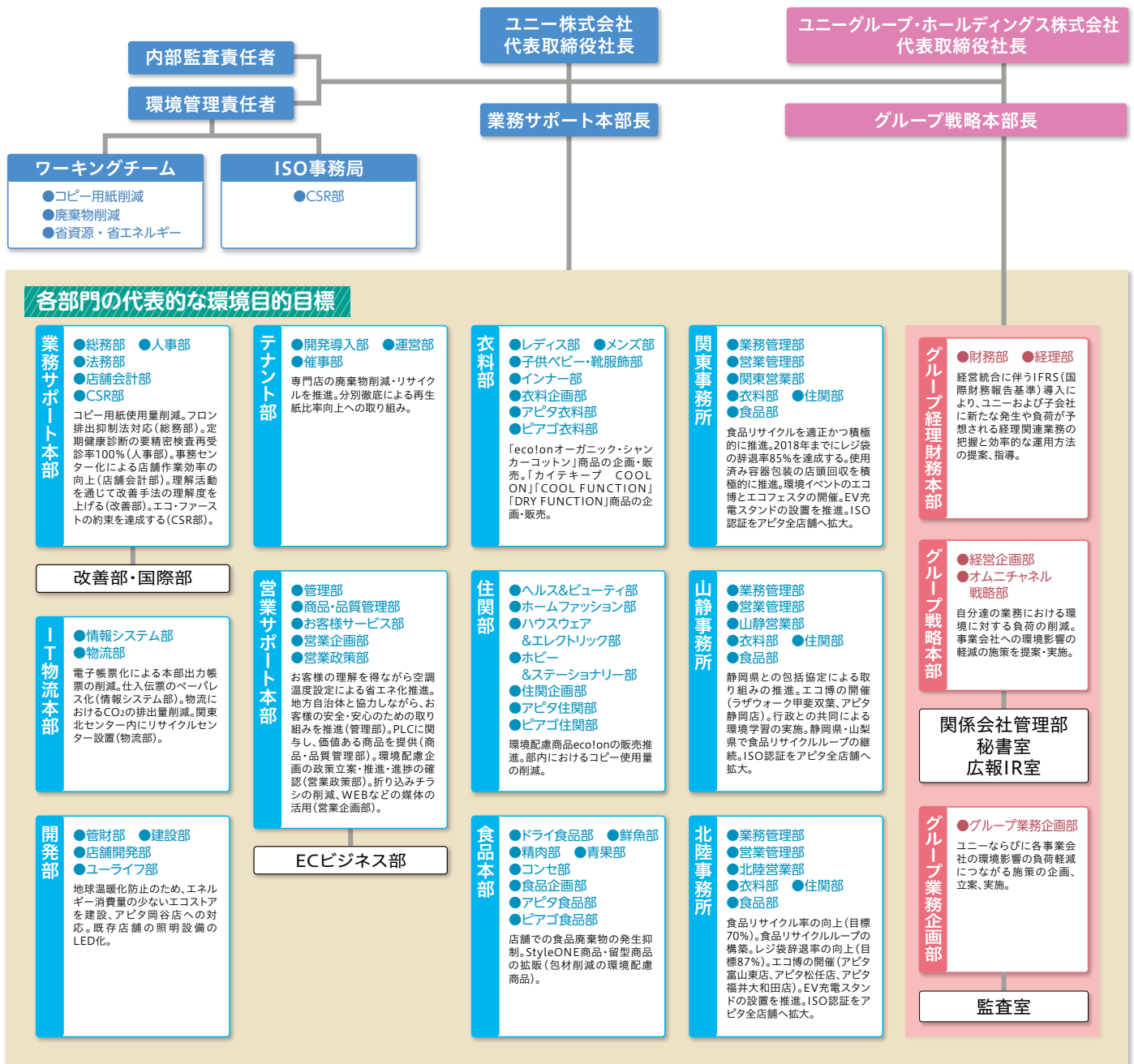


環境マネジメント

ユニーの環境方針に「持続可能な社会構築を企業活動を通して実現することが、企業責任である」と明記しています。持続可能な社会とは、現在のことだけでなく、未来に向かって地球環境を守り、人間が自然と共存し、誰もが平和で幸せに暮らせる社会です。この大きな目的を果たすために、ユニーはISO14001環境マネジメントシステムを用い、店舗や事業所の環境影響を調べて改善することに努めています。そして、お客様と一緒に「環境にやさしいお買い物」によって持続可能な社会実現を目指しています。

環境マネジメントシステム(EMS)の組織と活動

ユニーは営業活動の中で地球環境に対してさまざまな影響を及ぼしています。商品を生産者から仕入れ、運び、販売し、お客様に消費していただくバリューチェーンのそれぞれの過程で発生する環境に悪い影響（環境負荷）をできるだけ低減することを環境目的目標にしています。また、環境配慮商品の販売やエコストアの建設、容器包装の削減や廃棄物のリサイクルなど、環境をよくするための活動をさらに進めることも、環境マネジメントシステムで実践しています。このシステムは、Plan（計画）・Do（実行）・Check（検証）・Action（見直し、改善）のスパイラルで環境方針を実現し、持続可能な社会構築のために持続的に改善していくものです。



店舗 ※p10に店舗環境ISO推進体制の詳細を記載しています。

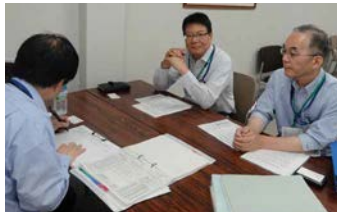


環境マネジメント(ISO14001)の取り組み

2004年1月に本社事務所がISO14001を認証取得し、その後関東事務所・山静事務所・北陸事務所がそれぞれ本部として認証取得しました。2008年2月、本社が各本部を統合、同年8月にはユーストアを合併し組織変更・拡大を図りました。2013年8月、ユニーグループ・ホールディングスが認証範囲に加わり、そして、2014年2月からモデル店舗（アピタ千代田橋店、アピタ長津田店、アピタ富士吉原店、アピタ松任店）が認証取得し、順次、店舗認証の拡大を進めています。



本社サーベイランス審査



本社サーベイランス部門審査



本社サーベイランス現場内審査



アピタ岐阜店 ISOバックヤード審査



アピタ各務原店 ISO審査



アピタ美濃加茂店 ISO売り場内審査



▶ 店舗でISO14001認証取得、40店舗に拡大

店舗での環境活動をより推進していくためにISO14001の認証取得を全店へと拡大していきます。モデル店舗の4店舗に加えて、2015年度は、ユニーが店舗展開する1府18県で各府県1店舗の19店舗にて認証の拡大を図りました。2016年7月には新たに17店舗が認証を取得、これで40店舗になりました。

2016年度中にアピタ全店舗、2017年度中には、ピアゴ全店舗にてISO14001の理解活動を拡大していきます。

ISOの環境目標には、従業員から提案された環境側面をテーマに取り組んでいます。

◆店舗におけるISOの環境・目標(2016年度)

① 環境関連法令の遵守	② 電気使用量の削減
③ 廃棄物の削減とリサイクルの推進	④ 排水水質の改善
⑤ 営業と一体となった地域貢献活動	



環境側面の特定



店舗でのISO14001理解活動

▶ ISO14001推進のための社員教育

環境方針・環境目標やマネジメントシステムの理解を深め、環境活動を実践していくために、適用範囲の全従業員と関係する人々に教育を実施しました。環境目標は、部門ごとに業務の環境影響調査を行い、環境側面を抽出して設定しました。「環境実施計画」策定についての教育を実施しました。

また、環境マネジメントシステムの内部監査の監査員教育を行い、認定取得は352名になりました。



内部監査員養成合宿



本社従業員集合教育

▶ 緊急事態への対応

環境影響で重大なものに災害があります。愛知県稲沢市の本社では2011年の東日本大震災レベルの災害が東海地方におこることを想定し、防災訓練を計画して実施しました。



本社合同消火訓練



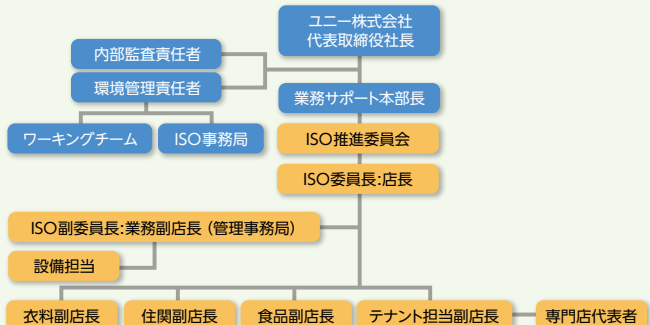
ISO14001認証取得に向けて

▶ 店舗環境ISO推進体制

店舗の環境ISO推進体制に基づくメンバーにより、月に1度、ISO推進委員会が開催されます。店舗で作成した環境実施計画書の具体的な数値を評価して、点検・見直しを実施し、具体的な施策を講じていきます。



ISO推進委員会



アピタ稲沢東店 2016年7月ISO14001認証取得

アピタ稲沢東店は、2016年3月からISO14001の理解活動を開始しました。従業員の環境への意識が向上し、これまで推進してきた環境保全活動の精度を上げて取り組みました。その効果として、活動開始の3月から6月までの環境目標は毎月すべての項目で目標を大きく上回って達成できました。



リーフウォーク稲沢
支配人 朱宮 伸治

